

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 9 組

使用教科書：（光村図書「美術 I」）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創り出し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		絵・彫	デ	映							
1 学期	【知識及び技能】 作品を細部まで鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】 いくつかの作品を鑑賞して、現代の多様な表現に触れ、作者の心情や意図と表現の工夫について考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	対話型鑑賞 『Art?orNot Art?』 『美術館について』 対話型鑑賞 グループワーク				○					4
	【知識及び技能】 材料や道具の基本的な使い方を身につけ、造形的な特徴をもとに陰影をつけ、立体としての物の見方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴から形や質感、陰影について考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。	制作活動①絵画基礎 鉛筆の削り方 球体の陰影 幾何学形態のデッサン	○			○					8
	【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、主題を追求して創造的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフに対するイメージや質感などを捉え、形や色、構図や陰影について考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にモチーフを見つめ、感じ取った特徴をもとに表現の創造活動に取り組む。	制作活動②静物画 (モチーフ各種、キャンバス)	○			○					14
2 学期	【知識及び技能】 形や色、材料、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ロゴデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なロゴデザインを比較して、使用する目的や使う人の立場に立った機能と調和のとれた美しさを感じ取り、形や色、材料、質感の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に様々なロゴデザインを鑑賞	制作活動③平面デザイン基礎 『デジタルロゴマークを作ろう』 ロゴマークの歴史 「佐藤可土和」のロゴについて知る デジタルデザインの技法 (Adobe Expressを活用したタブレット等ICT機器の活用)				○					14
	【知識及び技能】 日本や諸外国の文様に関心をもち、動植物やものの形や色の特徴などから主題を生成する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題をもとに形や色のパターン、構成などを工夫して構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、伝え合う。	制作活動④日本の伝統的な美術にふれる 『文様をデザインする』 伝統的な文様の歴史 オリジナル文様の制作 タブレット等ICT機器				○					14

